

木の葉の薄い、まばらなるのを描くには、樹木の幹枝を最初に描いて、然る後に木葉を描くのである。木の葉の定色が冷い色のときに其裏に日没其他の暖色があるときは、木の葉の明るい部分も冷いまゝて居るのである。秋の暖い色の場合の如きは、太陽に照されて居る明るい部分は、極端に豊富で、黒みなしに頗る深い色である。これを描寫するには調子の純清を旨として、互に調和の好い、純清な色彩を使用しなければならぬ。

(つゞく)

寫生用遠近法

眞野紀太郎

〔三〕 アルバム (挿圖参照)

今度は室内で靜物寫生をやる人々の爲めにアルバムの遠近圖を説明します。此圖では畫者の目の高さ(P)を三尺とし、アルバムは畫者から二尺程前に在て看下した圖である。このやうな物の正しい遠近圖を得やうといふには、先づPを通じて水平線HLを引き、一番畫者に近いアルバムの一隅即ちA點を定め、AC邊實角五十度(がHL線に對して如何程の傾斜であるかを目測し、これを延長してHLと交る消點(紙外を定め、次に同じ方法でAB點CD邊を畫き、これに厚さをつけ、大體の形を畫くのである。夫から開きかけの二枚は、AB點CD點との軸なるKMより垂線JIを立て、半圓周の遠近圖に於ける橢圓を畫く時は、開きたるものは此範圍内で動くものゆへ、此圖に於て四十五度開けるFKの如きは、ABより成りし半圓周にF點を記し、其FよりACの消點迄線を引かばFEを得べし、依てFEよりKMに線を結べばよいのである。他の三十度の角に於ける一枚も同じ方法によつて正しき形を得るとが出来るのである。

*

*

*

*

*

*

*